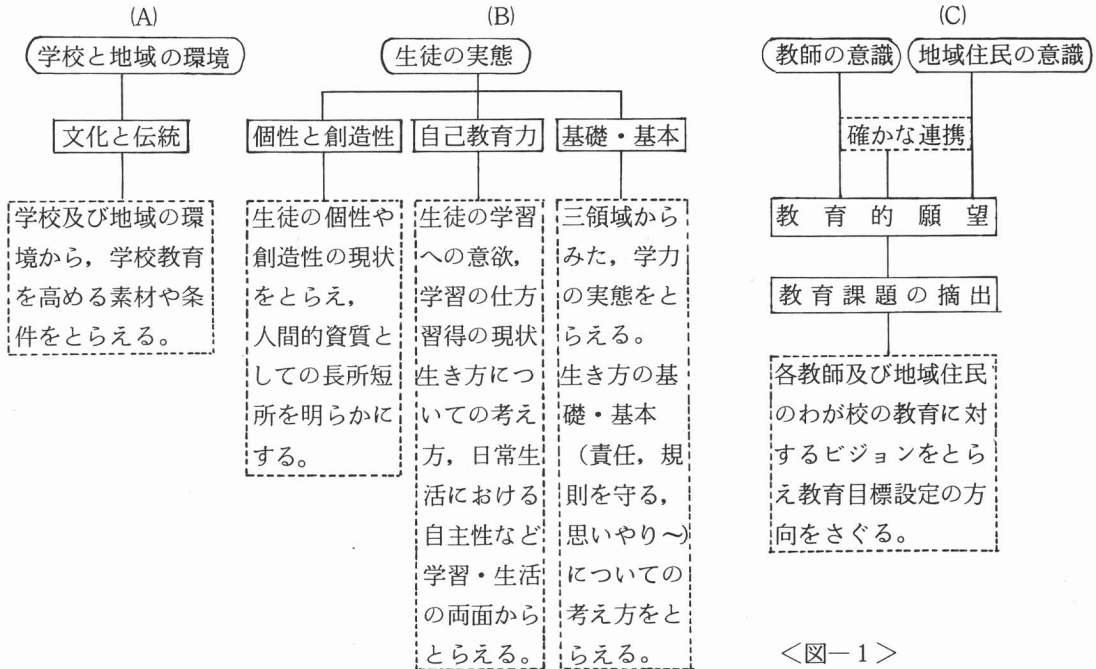


る。この場合、アンケートのみでなく、
各種集会を利用しての聞きとりや、協議

等を適宜用いるようにする。

(図-1 (A), (C)参照)



③ 実態把握とその分析 —教育目標との関連を考えた意識調査の例—

	保護者の学校に対する要望		教師の生徒に対する要望		分析 (次年度の学校課題の基礎Bを含む)
		(%)		(%)	
進んで学習する生徒	<ul style="list-style-type: none"> 社会で役立つ知識・技能の習得。 進んで学習する習慣の形成。 学力を高める指導。 	62 55	<ul style="list-style-type: none"> 社会生活に必要な基礎的・基本的な知識・技能の習得。 自ら計画をたて、目標を目指して根気よく学習に取り組む習慣と進路の自己決定。 	85 78	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に計画をたて、目標を明確にして、学習に取り組む。 自ら学習課題を設定し、解決にむけて探究できる能力の育成。 積極的な表現能力の育成。 基礎基本を大切に授業。
礼儀	<ul style="list-style-type: none"> 共同生活のルールや、正 	70	<ul style="list-style-type: none"> きちんとした身なりで 	80	<ul style="list-style-type: none"> 正しい服装であいさつや応

※ 調査問題例 (保護者対象) N= 179 名

- (問) 学校は、どんなところであってほしいと思いますか。
- 人間としての愛情を育てるところ (少数)
 - よい友だちをつくる場所 (19%)
 - 社会で役立つ知識や技能を習得する場所 (62%)
 - 共同生活のルールや正しい生活のし方を学ぶ場所 (70%)
 - 楽しい時間をすごす場所 (少数)
 - 心身共にたくましい人間をつくる場所 (35%)
 - その他 (少数)